

表面波の振幅減衰からひび割れの位置を特定

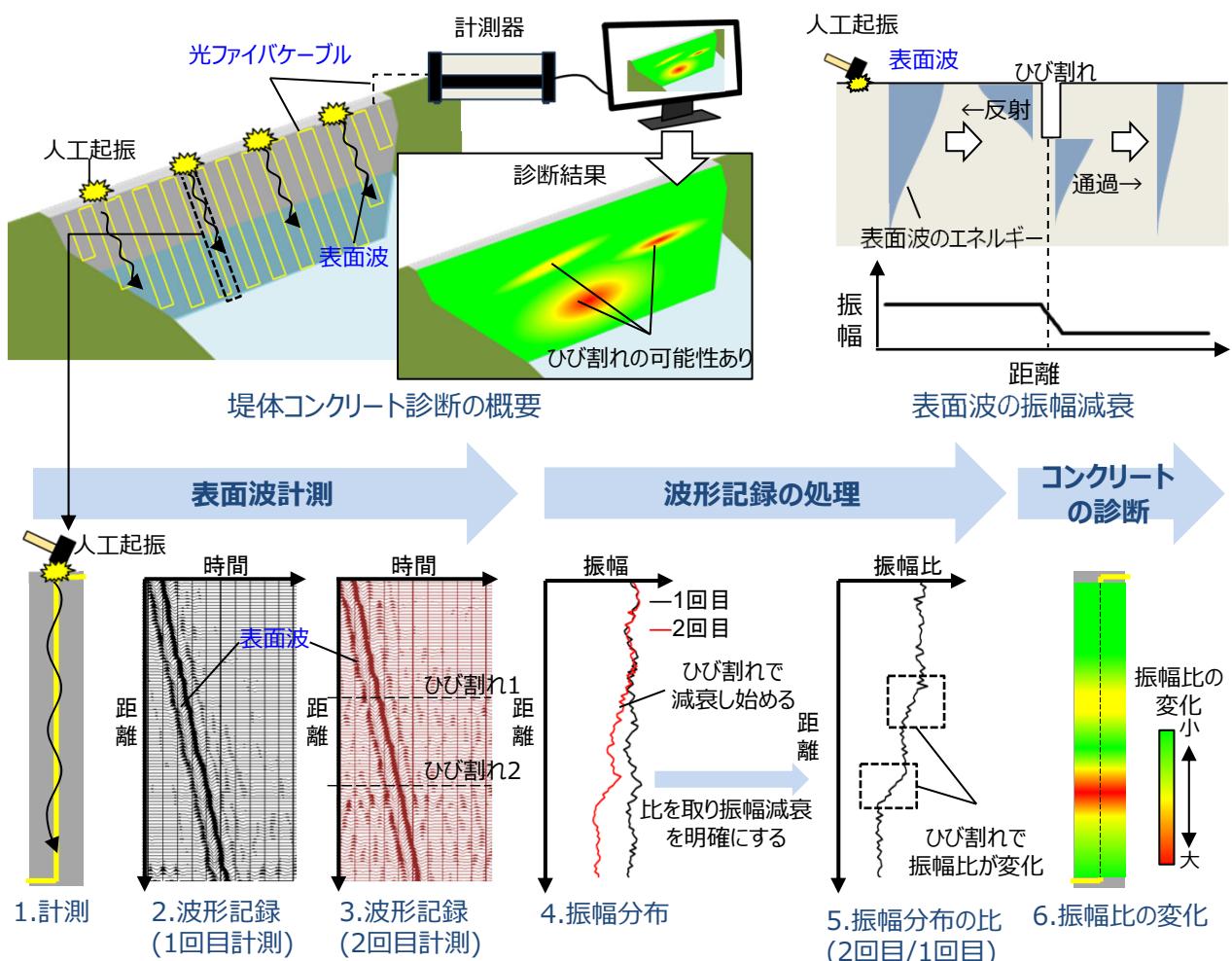
情報化施工技術 → 施工設備 → 特殊施工技術 → 再生技術 → 環境技術

お客様のメリット

- 堤体天端からひび割れの位置が特定できるため、維持管理の効率化・省人化が図れます。
- 高所での測定が不要となるため、作業の安全性が向上します。
- 表面波により堤体を点検するため、貯水池側の品質も確認できます。

技術の特徴

光ファイバセンサのひとつであるDAS(Distributed Acoustic Sensing)により、コンクリート表面を伝播する表面波を計測します。表面波のエネルギーは物質表面に集中するため、表面波がひび割れを通過する際に振幅は減衰します。定期的な計測を繰り返すことで、新たに発生したひび割れの有無とその位置を推定することができます。



実績・事例

南摩ダム